

想定した品目

そらまめ(露地)

1. 技術体系の特徴

品目	家族労働力	品目・栽培型及び規模		経営・技術の特徴	
そらまめ(露地)	人	a		1. 露地マルチ栽培 2. 催芽処理は共同 3. 防風対策の実施 4. 摘莢等の実施による生産安定	
	2	30			
		経営耕地面積	水田 170 畑 30		
経営目標	1	農業総収入	2,908 千円	4	1日当たり農業所得 7,920 円
	2	農業経営費	1,744 千円	5	1人当たり年間労働時間 588 時間
	3	農業所得	1,164 千円		

2. 資本装備と減価償却費

	種類・規模	数量	型式・構造・能力	所有割合	取得価格	耐用年数	年間償却額
					千円	年	千円
建物・施設	作業及び収納舎	1	軽量鉄骨 60㎡	1	5,671	24	236
	農機具倉庫	1	軽量鉄骨 20㎡	1	1,890	24	79
	計				7,561		315
農機具	トラクター	1	20PS	1	1,560	7	111
	動力噴霧機	1	可搬式	1	184	7	13
	管理機	1	6.2PS	1	278	7	20
	トラック	1	軽トラック	1	1,324	4	166
	計				3,345		310

3. 技術体系（そらまめ露地）

(10a当たり人、時間)

作業の種類	栽培技術		作業体系				使用資材	技術の重要事項
	技術内容	作業時期	使用機械器具	組み作業人員	実作業時間	延べ作業時間		
(本ほ) 耕うん 整地	耕起整地	8月	トラクター	1	4	4	堆肥 2,000kg 石灰質資材 140kg	深耕及び有機質の施用 pH6.0程度に矯正する
	うね立て マルチ	9月上	管理機	2	2	4		
施肥	基肥施用	9月上	トラック トラクター	2	2	4	N 17kg P ₂ O ₅ 17kg K ₂ O 16kg	基肥は全層施肥 追肥は着莢期から収穫前までにN成分3kg/10a施用する
	追肥施用	12月下 ~2月下	管理機	1	5	5		
育苗箱播種	播種	8月中 ~9月中	トラック	2	2	4	育苗箱 10箱 種子量 8袋/10a 陵西一寸 (230粒/袋)	催芽処理: 発芽揃い促進 低温処理: 花芽分化促進 播種量 170から180粒/箱 低温処理 温度2~4℃ 処理期間 30日間程度
播種		9月下 ~10月中	トラック	2	3	6		栽植密度(1条) うね幅1.4m×株間50cm 10a当たり 1,430株
支柱立て 誘引		10月上 ~3月上	トラック	1	16	16	支柱 350本 テープ 7,000m	L字3本仕立とする。 支柱間隔 1.5~2m 誘引テープ間隔 25~30cm 5段程度張る。
管理	整枝 腋芽除去	10月中 ~						本葉4~5枚で主枝を摘心し、収穫枝を3本確保する。
	摘莢	4月上旬		2	68	136		横倒後、針金等で固定。 着莢節数は12節前後とし、最終着莢節上に5節残し、摘心する。1節1莢とする。 腋芽は早めに除去する。
病虫害防除	薬剤散布	2月下 ~5月上	動力噴霧機	2	7	14		県病虫害防除基準による。 連作障害回避策として圃場を毎年替えて作付する。
収穫出荷		4月上 ~5月下	トラック	2	85	179		莢が下向きに垂れ、背筋が黒褐色、種子形状が外観上明瞭になった頃に収穫する。
後かたづけ		5月下	トラック	2	10	20		
計						392		

